

第15章 情報公開・説明責任

目 的

関連法規を遵守し、社会に対する説明責任を果たすべく、組織の運営状況や諸活動について情報公開を行う。また、情報の公開請求に対しても適切な対応を行う。

なお、情報公開に当たっては公開の形式だけでなく、内容についても社会が大学の状況を正しく理解し得るよう特段の配慮を行う。

1 財政公開

1-1 財政公開の状況とその内容・方法の適切性

(1) 現 状

ア 現 状

大学は、その社会的責任から財政に関わる情報を適切に公開し、説明責任を果たすことが求められている。このため、本学は従来から教職員・学生・父母・校友など大学関係者を中心に、大学の財政状況について理解を得られるよう広報紙を通じて積極的な財政公開を行ってきた。具体的には、教職員・父母・校友には「明治大学広報」、学生には「M-style」に、予算については「予算編成方針」「予算の概要」「消費収支予算」「資金収支予算」を、決算については「消費収支計算書」「資金収支計算書」「貸借対照表」を掲載して、それぞれの主な内容について説明を行ってきた。

その後、2005年4月からは、私立学校法の一部改正に伴い、財務情報として、決算については「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」及び「監事による監査報告書」の公開が義務付けられることになり、従来事務所に備え付けていた財産目録等も閲覧に供することになった。本学は、これらに対応するため、財務部が開示対象書類を作成するとともに、事業報告書については関連部署と協働して作成し、備え付けている。事業報告書では、大学の特色や法人の概要、事業の概要を明示するとともに、財務の概要として計算書類だけでは理解しにくい財政内容を日本公認会計士協会からだされた平成21年2月17日付「学校法人における事業報告書の記載例について」に基づき1決算の概要、(1)貸借対照表の状況、(2)収支計算書の状況、①資金収支計算書、②消費収支計算書、2経年比較、(1)貸借対照表、(2)収支計算書、3主な財務比率比較、4その他に分けて説明している。

この他、2004年度からは上半期決算に伴う貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書を含めて作成し公開している。また、予算についても従来の計算書類等に加えて、事業計画書を作成して公開している。

これら財政に関わる情報の公開方法は、従来の広報紙に加えて、ホームページ上でも公開しており、2005年度から財政状況ホームページの内容を刷新し、トップページから直接アクセスできるようにするなどその利便性を高め、大学関係者以外の一般社会にも理解を得られるよう改善を図っている。

公開の対象者と方法の状況は次の表に示すとおりである。

全学報告書

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法			
		自己点検・ 評価報告書	大学機関誌・紙	事業報告書	ホームページ (Web等)
教職員	資金収支計算書	○	○	○	○
	消費収支計算書	○	○	○	○
	貸借対照表	○	○	○	○
	財産目録	—	—	○	○
	財務状況に関する解説	○	○	○	○
在学生	資金収支計算書	○	○	○	○
	消費収支計算書	○	○	○	○
	貸借対照表	○	○	○	○
	財産目録	—	—	○	○
	財務状況に関する解説	○	○	○	○
卒業生	資金収支計算書	○	○	○	○
	消費収支計算書	○	○	○	○
	貸借対照表	○	○	○	○
	財産目録	—	—	○	○
	財務状況に関する解説	○	○	○	○
保護者	資金収支計算書	○	○	○	○
	消費収支計算書	○	○	○	○
	貸借対照表	○	○	○	○
	財産目録	—	—	○	○
	財務状況に関する解説	○	○	○	○
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書	○	○	○	○
	消費収支計算書	○	○	○	○
	貸借対照表	○	○	○	○
	財産目録	—	—	○	○
	財務状況に関する解説	○	○	○	○

イ 長 所

2007年度の大学基準協会による大学評価（認証評価）結果において次の様に「長所として特記すべき事項」として示された。

「3 情報公開・説明責任 1）財務情報については、関係者ごとに配付される刊行物に、わかりやすい解説や図表・比率を付けて公開している他、ホームページでも貴大学に対する理解を促進するための公開姿勢が表されている。」

1-2 情報公開請求への対応状況とその適切性

(1) 現 状

ア 現 状

学校法人は公共的な性格を有していることから、社会に対し、正しい情報を適切な方法により公開していくことが求められており、真摯にその対応を進めていくことが重要である。

本学においては、財務状況、事業計画・事業報告及び自己点検・評価報告をはじめとして、ホームページや刊行物により教員研修（FD）活動、環境保全、地域社会連携、キャンパス・ハラスメント、個人情報保護、等への各種取組みを公開するとともに、学内関係者及び学外団体から学内情報に係る公開の請求があった場合には、関係する部署においてその都度対応している。

財務情報については、関係者ごとに配付される刊行物に、わかりやすい解説や図表・比率を付けて公開している他、ホームページでも本学に対する理解を促進するための公開姿勢が示されている。

イ 問題点

情報公開請求に対応する専門の窓口を設けていないため、統一された対応が必ずしもなされていないことが考えられる。

また長期計画に連動した財務計画については、教職員をはじめとしたステークホルダーに対して明示されているとは言い難い。

(2) 問題点に対する改善方策

情報公開請求があった際の公開をすべき統一的な基準の作成や公開手続の整備を進めるとともに、一元的な専門窓口の設置をすることにより、積極的な情報公開への対応体制を構築し、大学運営のより一層の透明性を高めていく。

財務情報については、財政状況が全般的に理解できるよう、また、収入の使途、支出の効率化策をいかに図っているかをステークホルダーに判るよう、より一層の透明性を高めていく。

また、本学は学部ごとの財政運営はとっていないが、学部別の収支等を公開していくことも考慮すべきとの指摘もあり、さらに理解を得られるよう学校法人会計をできるだけ平易に説明するため、より一層表やグラフを使用して判りやすくするとともに、学生一人当たりの収支や学部別の収支などの掲載も視野に入れた工夫を凝らして改善を図っていく。

さらに、情報公開のための媒体（メディア）の種類をより増やし、様々なステークホルダーに向けて情報を開示していく。

2 自己点検・評価

2-1 自己点検・評価結果の学内外への発信状況とその適切性

(1) 現 状

ア 現 状

『明治大学自己点検・評価報告書』を大学ホームページの「大学評価」(<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>)に掲載し、公開・発信を行っている。また報告書をまとめた「2007 年度明治大学自己点検・評価報告書」の冊子を各部局に配布している。

自己点検・評価に伴う専任教員の研究業績については、データベース化が図られ、ホームページ上での公開を実施している

イ 長 所

大学ホームページでの公開は、学外へ向けての公開・発信の意味では適切なものとなっている。

ウ 問題点

学内に配布している報告書の冊子は、全学報告書や各学部等の報告書などを盛り込んだ、かなりボリュームのあるものとなっているため読みづらく、それぞれの部局で十分に活用されているとは言いがたい。

また 2007 年度の認証評価結果において「研究業績の公開は、インターネットを利用した「Oh-o!Meiji システム」において統一した様式で記載されているものの内容・量

ともに個人差が認められるので、全教員統一して記載を行うことが望まれる。」という指摘がなされたことについて、研究知財戦略機構にてシステムの使い易さに配慮した改良を行ったが、教員の入力状況にはまだ個人差が見られる。

(2) 問題点に対する改善方策

全学報告や全学委員会コメント、評価委員会による評価結果の活用を促すために、新たに「明治大学自己点検・評価報告書 概要」(学部等報告書を除いたもの)を作成する。またこれに加え、自己点検・評価のプロセスへの理解を深めるため、わかりやすくプロセスの流れを示す冊子などを作成する。

各教員による研究業績のシステム入力については、研究・知財戦略機構にて入力徹底の依頼をしつつも、各学部事務室においても入力の推進を行うよう協力を求めていく。

2-2 外部評価結果の学内外への発信状況とその適切性

(1) 現 状

ア 現 状

外部評価については、2007 年度に行った大学基準協会の大学評価（認証評価）結果において適合認定を受け、その結果をホームページに掲載している。

(http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/pdf/001_ninsyohyouka.pdf)

イ 長 所

認証評価についてはホームページ上で迅速に公開しており、また他の外部評価についても適切なステークホルダーに迅速に公開している。